

道徳教育の研究推進 と改善の視点

平成19年9月20日(木)
県庁農林庁舎102会議室

- はじめに
- 1 今, 求められる研究指定校の役割
- 2 マネジメントサイクルに基づく研究推進と改善の視点
 - (1) PLAN (計画の作成)
 - (2) DO (授業の工夫)
 - (3) CHECK
 - (成果・課題の把握・分析と成果発信)
 - (4) ACTION (改善)
- 終わりに

はじめに

「各地域における中核校として, 道徳教育に関する情報発信等を積極的に行っていますか？」

Yes 青カード
No 赤カード

1 今, 求められる研究指定校の役割

- (1) 「道徳の時間」等のモデルとなる取組みの発信
- (2) 本県(各地域)における道徳教育推進の中核校として
- (3) 道徳教育における指導方法等の研究開発

(1) 「道徳の時間」等モデルとなる取組みの発信

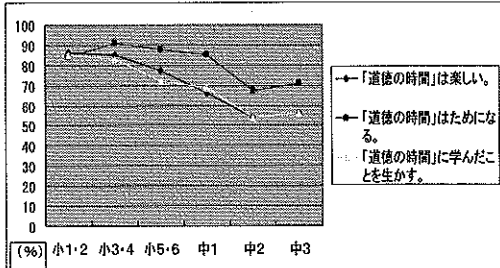
(課題)

- 道徳の時間の指導が形式化して実効が上がっていない。
- 学年が上がるにつれ児童生徒の受け止めがよくない。
- 学校, 学年の段階等を踏まえた道徳教育の重点が見えにくい。

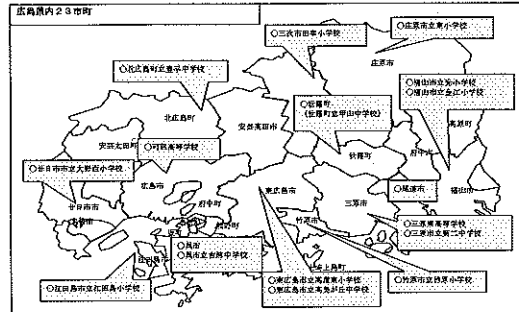
- 高等学校の道徳教育は, 教育活動全体を通じて行うことを意識した指導が十分なされていない。
- 道徳教育に取り組む体制を一層充実し, 家庭や地域社会と一体となって推進すべき

(平成18年9月教育課程部会「検討素案」より)

平成19年度文部科学省委嘱事業指定校「道徳の時間」に関する意識調査結果(第1回)より



(2)本県(各地域)における道徳教育推進の中核校として



(3)道徳教育における指導方法等の研究開発

道徳の時間の指導を一層充実させるために各教師に求められること	小学校	中学校
教材の分析, 魅力ある教材の選定及び開発・活用等の工夫	67.4%	69.7%

道徳教育推進状況調査(文部科学省)より

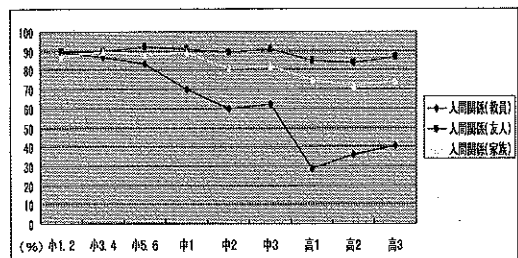
2, マネジメントサイクルに基づく研究推進と改善の視点

- (1)PLAN(計画の作成)
- (2)DO(授業の工夫)
- (3)CHECK(成果・課題の把握・分析と成果の発信)
- (4)ACTION(改善)

(1)PLAN(計画の作成)

- ①研究主題, 仮説等の共通理解
- ②児童・生徒の実態把握
- ③保護者の思いや願いの把握
- ④校内推進体制の確立(道徳担当者の役割)
- ⑤検証の指標や達成目標の設定
- ⑥研究の柱の設定と共通理解

平成19年度文部科学省委嘱事業指定校生活に関する意識調査結果(第1回)より



(2) DO (授業の工夫)

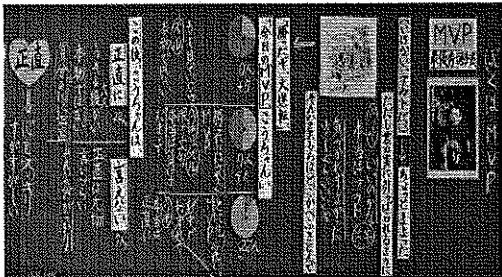
- ① 基盤づくり
- ② 「道徳の時間の特質」を押さえた授業
- ③ 研究テーマを踏まえた授業
- ④ 児童・生徒の発達段階を踏まえた授業

(3) CHECK

(成果・課題の把握・分析と成果発信)

- ① 児童・生徒にとっての成果・課題
- ② 教師にとっての成果と課題
- ③ 課題を踏まえた今後の取組みの方向性
- ④ 板書、授業等の記録の蓄積
- ⑤ 学習プログラムの作成
- ⑥ 道徳教育の取組みの計画的な発信

④ 板書、授業等の記録の蓄積



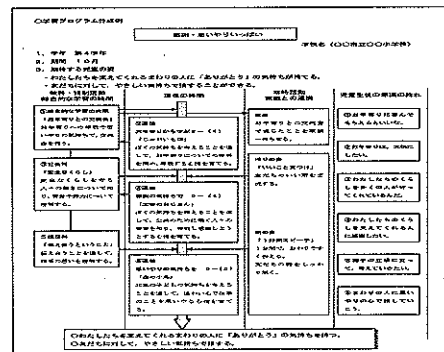
⑥ 道徳教育の取組みの計画的な発信



(3) ACTION (改善)

- ① 成果・課題を踏まえた計画の見直し
- ② 今後の取組みの方向性を踏まえた改善策の検討
- ③ 学習プログラムの改善

③ 学習プログラムの改善



○終わりに

